

山下公園インド水塔改修工事に伴う設計業務委託

本設計業務委託にあたって、公募型特別簡易プロポーザルを実施し、設計者選定を行いました。

● 委託業務の概要

1 目的

インド水塔は、昭和14年に横浜印度商組合から横浜市へ寄贈された建物です。インド建築やイスラーム建築のモチーフを取り入れた建物は、横浜の近代建築の遺構であり、山下公園の造形物として、景観上重要な存在となっています。

現在、建物の老朽化が進んでいるほか、近年の台風で屋根の一部が破損している状況です。そのため、本事業では、劣化部分の補修及び復元を行います。

2 一連の業務委託契約（予定）

- (1) 実施設計 令和3年6月頃 から 令和4年1月31日まで（今回）
- (2) 工事監理 令和4年6月頃 から 令和4年12月頃まで（予定）

● 実施の経緯

令和3年5月13日(木)…第二入札参加資格審査・指名業者選定委員会（実施方法等の選定）

令和3年5月18日(火)…実施の公表

令和3年5月25日(火)…参加意向申出書の提出期限（3者より申出）

令和3年5月28日(金)

…提案資格確認結果通知書・プロポーザル関係書類提出要請書の交付（全者へ交付）

令和3年6月1日(火)…質問書の提出期限

令和3年6月4日(金)…回答書の送付

令和3年6月10日(木)…提案書の提出期限（3者より提出）

- ・株式会社山手総合計画研究所
- ・株式会社国設計
- ・株式会社ケー・アール建築研究所

令和3年6月21日(月)…評価委員会

令和3年6月24日(木)…第二入札参加資格審査・指名業者選定委員会（受託候補者等の特定）

● 評価委員

建築局公共建築部学校整備課長（委員長）

建築局公共建築部保全推進課保全管理担当課長（副委員長）

建築局公共建築部電気設備課担当係長

建築局公共建築部施設整備課担当係長

建築局公共建築部施設整備課担当

● 提案書の内容

1 提案項目

「2 提案書作成上の計画条件」を前提とし、コスト縮減、施設の長寿命化に配慮しながら、下記の項目について提案してください。

(1) 既存建物を忠実に復元することに重点をおいた、調査・補修復元方法の考え方についての提案

- ア 設計時における適切な調査の方法
- イ 適切な記録保存や部材の劣化具合に応じた補修復元の考え方
- ウ 補修復元における、バランスの取れたコスト管理

(2) 業務の成果物等の品質確保、業務の進め方と取組体制について

- ア 成果物等（報告書及び図面、積算関係書類等）の品質向上を図るための方法
- イ スケジュールの組立て方や管理方法、工事監理体制などの業務の進め方
- ウ 関係者間の連携等をどう行うかなどの取組体制についての提案

2 提案書作成上の計画条件

提案書を作成するにあたり、次のとおり計画条件を設定します。

なお、計画条件は、契約後の設計委託業務の与条件とは異なる場合があります、設計委託業務は、提案書の内容にかかわらず、契約後に提示する与条件に基づき行います。

(1) 計画意図

インド水塔は、昭和 14 年に横浜印度商組合から横浜市へ寄贈された建物です。

インド建築やイスラーム建築のモチーフを取り入れた建物は、横浜の近代建築の遺構であり、山下公園の造形物として、景観上重要な存在となっています。

現在、建物の老朽化が進んでいるほか、近年の台風で屋根の一部が破損している状況です。

本事業では、未調査であるドーム内の調査を実施したうえで、劣化部分の補修及び復元を行います。

(2) 復元建物概要

ア 施設名	インド水塔（横浜市認定歴史的建造物）
イ 所在地	中区山下町 279 山下公園内
ウ 構造・規模	鉄筋コンクリート造平屋
エ 仕様	外壁：腰部は万成御影石張り、上部は擬石張り 屋根：人造石研出仕上げ、ドームは銅板葺き
オ 建築面積	9.6 m ²
カ 建築年	昭和 14 年（1939 年）

(3) 劣化状況

ドーム内の調査は実施していないため、本委託で内部の架構及び劣化状況の調査を予定しております。

調査としては、以下を予定しております。

- ア 劣化調査（目視・打診）及び部材断面寸法測定
- イ レーダー探査（ドーム部分は鉄骨造の可能性があり、下地調査が必要なため）
- ウ 内部調査（ファイバースコープによる調査）
- エ 開口処理（銅板欠損部より開口を開け、復旧及び防水処理を含む）

3 設計業務実績

次の条件を全て満たす設計業務実績について、最大 5 業務まで記載してください。

- (1) 企業又は管理技術者個人の設計業務（工事監理業務を除く）実績であること。
- (2) 文化財保護法に基づき、国または地方公共団体が指名した文化財（建造物）、又は横浜市認定歴史的建造物の改修工事であること。
- (3) 平成 23 年 5 月 18 日から令和 3 年 5 月 17 日までの間にしゅん工していること。

● 結果

受託候補者：株式会社山手総合計画研究所

（評価の理由）

屋根や構造など、今回必要な改修個所の調査の方法、改修の考え方が具体的であり、詳細に記録を行うことにより将来の維持保全も見据えた提案が評価されました。また、業務の進め方についても要点が押さえられており、全体的にバランスの取れた提案が評価されました。

次点者：株式会社国設計